



2020年5月13日

各 位

会社名 日本製麻株式会社
 代表者名 取締役社長 中本 広太郎
 (コード番号 3306 東証第2部)
 問合せ先 取締役経理部長 中川 昭人
 (TEL. 078-332-8251)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2019年11月8日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,708	13	13	16	4.36
今回発表予想(B)	3,767	△35	△30	△10	△2.78
増減額(B-A)	59	△48	△43	△26	—
増減率(%)	1.6	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	3,856	25	32	0	0.25

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,501	47	34	9.27
今回発表予想(B)	2,367	48	36	9.95
増減額(B-A)	△134	1	2	—
増減率(%)	△5.4	2.1	5.9	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	2,438	24	1	0.37

修正の理由

(1)連結業績

2020年3月期通期連結業績につきましては、個別業績の食品事業の減収要因はあるものの、マット事業の連結子会社が販売数量を伸ばし売上高は前回発表を上回る見込みです。

マット事業は軽自動車や小型車など普及車向けマットの販売が増加したため利幅が薄くなりました。また、生産拠点であるタイ国の労働法改正により、一時的に人件費は高騰し、利益率は圧迫されました。このため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を下回る見込みです。

(2) 個別業績

2020年3月期通期個別業績につきましては、食品事業のパスタの販売は不採算取引の見直しを行ったため減収となり前回発表の売上高を下回る見込みです。経常利益、当期純利益は概ね前回発表に近い数値を見込んでいます。

(注) 上記の業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、本予想数値と異なる可能性があります。

以上